

令和6年度第1回桑名地域医療構想調整会議 議事概要

- 1 日時：令和6年12月16日（月）19：30～20：30
- 2 場所：桑名市パブリックセンター
- 3 出席者：玉井委員（議長）、伊藤寿志委員、関戸委員、小林委員、山田委員、佐藤沙未委員、青木委員、伊藤清文委員、長谷川委員、堀田委員、出口委員、佐藤信恵委員、児玉委員、もりえい病院 増田院長、四日市徳新会病院 高島院長、富田浜病院 森事務長、村瀬病院 内海事務長、塩川病院 田中理事長、鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院 渡部院長、馬岡アドバイザー
- 4 議題
 - 1 病床関係について
 - (1) 令和6年度病床機能の現状について（資料1）
 - (2) 鈴亀地域における病床の機能分化にかかる支援制度の活用希望について（資料2）
 - (3) 北勢医療圏の病床整備について（資料3）
- 5 内容
 - 1 病床関係について
 - (1) 令和6年度病床機能の現状について（資料1）

<事務局から説明>

 - 医療機関からの病床機能報告と今年度実施したアンケート調査をもとに、県の定量的基準をあてはめた機能別病床数のデータを更新したため、報告する。

<主な質疑など>

なし。
 - (2) 鈴亀区域における病床の機能分化にかかる支援制度の活用希望について（資料2）

<事務局から説明>

 - 鈴亀区域における病床機能再編支援事業の活用希望のあった医療機関について協議する。
 - (3) 北勢医療圏の病床整備について（資料3）

<事務局から説明>

 - 北勢医療圏において一般病床と療養病床を合計した基準病床数が既存病床数を上回る状況となったことから、病床整備（増床）に係る意向調査の結果を踏まえ、今後の整備方針について協議する。

<主な質疑等>

 - 基準病床数に迫っているのでは仕方ないと言えそれまでだが、気になる点として、鈴鹿の流出量を見てみると、このままにしておくことは不味そうな気がする。回復期の病床を増やすということは素晴らしく、ありがたいなと思いながら聞かせてもらった。全体としてはバランスよく集約化されていくと思うが、今後の病床数の窮屈さが如何ともしがたいという印象。

（資料2及び資料3について、委員全員が了承した。）

以上